ロータスルート――さぁ、つながって行こう！　みんなで花を育てよう!!

LOTUS ROOT Report

http://www.kcc.zaq.ne.jp/myohokkein

2011年（平成23年）9月13日発行
ろおたす通算382号　Vol.2

日蓮宗
正中山別院
護国山妙法華院
広報機構委員会
〒652-0816　神戸市兵庫区永沢町4-5-8
TEL（078）575-2608　FAX（078）577-7651
lotus-k@kcc.zaq.ne.jp

世界全体が幸福にならないうちは、個人の幸福はありえない

by東北出身の法華経信者・宮沢賢治

せがき…漢字で書くと施餓鬼
おせがき法要
八月十九日（金）

棚経のお経とおせがきと、どちらかを選ぶとすればアナタは？

脇導師には失礼ながら紫の袈裟を着用してもらう。

盂蘭盆は初盆の方から焼香です。

満座供養を希望の方はお申し出下さい。

この日は、今までの暑さに比べると少し涼しい日和になりました。朝からたくさんのお檀家さんの方が、お手伝いにみえてお供養を詰めたり、掃除をしたりとお寺は活気に満ちていました。今日は、院首サンがベトナム旅行でお留守。清水上人は、自坊のおせがきと重なってお休みで、代わりに毎度おなじみの法蓮寺の内藤経雄上人と今年、棚経をお手伝いされた西区の信和結社の加納教馴上人がお見えになっていました。

定刻の午後一時より、今年三回目の僧風林を終えた敬秀君の太鼓の合図で、法要は始まりました。五十分ほどの丁寧なお経の後、智孝サンは法話の冒頭で「皆さんは、棚経のお布施とせがき料（塔婆料）と、どちらかを選ぶとすれば、どっちを選びますか？家に来てもらってウチのご先祖だけにお経を上げてもらう棚経の方が得だ、そう考えてはいませんか…」と切り出しました。寺のせがき法要とは、餓鬼界にさまよう苦しみの霊位を救うために行う。またこのお盆という時期は、まさにその語源となる大切な時期なのだ。と続けられ、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」を紹介されました。

「大泥棒のカンダタは生前に犯した数々の悪事により地獄に落とされる。しかしそれを見たお釈迦様は、カンダタも人生の中でたった一つだけ、踏み殺そうとした蜘蛛を助けるという善行を積んだ。お釈迦様は、行為に報いる為、地獄から救い出してやろうとカンダタの前に蜘蛛の糸を垂らす。カンダタは、その細い糸を使って天上に向けて必死に昇る。しかし中腹ほどまで来たところで振り返ると、他の罪人も後から次々に昇ってくる。カンダタは細い糸が切れると思い、罪人たちに向かって『下りろ』と叫んだその瞬間、自分の所で糸が切れてカンダタは再び地獄へと舞い戻る」というお話し。

たくさんの方が、一堂に介してこうしてお経を捧げ、塔婆を立て、花やお菓子、野菜や果物をお供えして無縁の方にも供養する寺のせがきが、実はご先祖さんも喜ばれる一番大切な行事なのだと。その後、満座供養の志にも触れられ、「少しでも今後は満座供養の施主を増やしていきたい」と、秋せがきの施主を募られました。そうしてお寺のかき氷供養が解禁となり、初盆の方々から灑水焼香が始まりました。

> 注意…「勘違いしないで下さいね。もちろん棚経もおせがきもどちらもされるのに越した事はありません」とは、住職の弁。

今年から初盆塔婆を盆中は納骨堂で祀る事にしました。

木曜なのにドヨウウシ
土用丑のご祈祷
七月二十一日（木）

来山されなくても申し込めばお札は授与されます。

注意…カッパではありません…ホーロク灸

丸ボーズは直火に近いので「熱いッス」と清水

徳リン悪いことをしていないのにお灸を据えられる。（徳リンって誰!?）

※答えは、れんこんの穴参照

「土用の丑」といえば、夏バテ防止の「うなぎ」を食べることぐらいしか知らなかった。

それが、智孝サンから依頼されたのは「お灸」の撮影であった。

話しを聞いた時には、仏教の世界では暑い真夏に「お灸」するのも修行のうちなのかと、さほど気にも止めていませんでした。撮影の日が近づくにつれて、お灸の全体像が頭の中で想像がつかず、一体どんな修行なるものが目の前に現れるのだろうかと、急に興味がフツフツとわいてきた。いくら暑い真夏でも、もぐさに火をつけて、じっとその暑さに耐える、熱くても我慢、我慢…。で、お灸のあとはどうなる…？

土用の丑に関して資料を調べるうちに、ようやくその全体像が明らかになってきた。日蓮宗においては、古くから格式のある伝統行事のようで、直接肌にお灸をするのではなく、経文が書かれた「ほうろく」（素焼きのお皿のようなもの・焙烙）の中央にもぐさを置き、それを頭の上に両手で掲げて、もぐさに火をつけてもらう。そして、住職の木剣加持による祈祷を受ける行事である。

残念なことに、小生はこのとき椎間板ヘルニアで入院中で、この日は病院に特別外出許可を得て、撮影のために何が何でも、とお寺に馳せ参じたのである。この日、突然、智孝サンから「徳さんも経験してみては…？」とのお言葉を頂きました。そのかいあってか、この日を境に腰のヘルニアの具合が急に良くなり、その二日後に退院しました。（信じるか、否かはあなた次第。ご利益、効果覿面ですよ。それともたまたまか？）

檀家の皆さん、来年の土用の丑の日には、「ほうろく灸」を受けにご来山下さい。ぜひオススメです。

日本の夏、平和の夏

なくそう原発！守ろう憲法第9条

日蓮聖人が目指した立正安国世界平和。それは妙法華院の平和活動と別ものではない。

恩師塚本智秀先生染筆の団扇太鼓はいつも住職のよき相棒

毎年の事ながら7月8月のお寺は、平和関連の行事が続きます。7月10日は、国民平和行進に参加です。院首さんも毎年のように、三木紀枝さんと共に兵庫区役所まで歩かれました。区役所まで歩かれた院首サンは引退してから延ばしているロンゲとヒゲに、爽やかな汗がキラリと光り、満足そうにアイスを頬張っておられました。そこから歩くのは、引き継いだ智孝サンと陽子サン。そして寺内京子さんも加わり、三木さんも最後の須磨浦公園みどりの塔まで歩かれました。みどりの塔では、智孝サンが今までの院首サンに代わってご挨拶。突然の指名にも関わらず「見事な挨拶はサスガ～チコーサン」と何も出ないのに寺内さんが誉めてくださります。いや訂正。コロッケとビールはお寺のおごりで支出していました。写真の万歩計は寺内さんのモノ。日本山の行進は、宮本サンの記事を参照。続いての被爆ピアノコンサートも別記。

8月に入ると5日は恒例のヒロシマ断食。お盆の棚経を1日からスタートさせていましたので、この日はかなり無理して予定を空けました。清水上人はフル回転のダブルアクセル。ヒロシマへ向かったのは、岡崎洋・大松純子・三木弘貴・森雪子さんの4名と院首・智孝の両上人。出発前から院首サンが出遅れたり、鍵をなくしたりとトラブルもありましたが、智孝サンにとっては想定内。無事に対処して遅れることなく全員定刻10時にヒロシマの平和公園に着きました。炎天下の中ですが、木も茂りテントもあるのでさほど気にせずお題目を唱え、団扇太鼓を平和公園内に響かせました。今年も被爆者の体験談や各方面のいろんな方の挨拶を聞きましたが、やはり今年は原爆と原発についての話題が多く出されました。福島が、「ノーモアフクシマ」とカタカナ表記になった事。太陽光発電の開発が飛躍的に進みつつあること。原爆でも原子力問題については、原爆でもあり原発でも被爆国となってしまった日本が世界に訴えなければならない事等。どれも「ウーム」とうなってしまう話ばかりで、実に実のあるヒロシマ行動となりました。吉田日美さんと婦人会の皆さんを中心に作った折り鶴も無事に、佐々木貞子さんの原爆の子像に納めてきました。お寺では、また来年ヒロシマへ持参するために、休憩室に折り紙を置いています。お寺に来られて時間が有るとき、1羽でも2羽でも折って頂ければ、その鶴を千羽鶴にしてみなさんの思いをヒロシマへ届けます。どうぞご協力ください。

また次の日からは、超忙しい棚経に舞い戻り、全身の疲れや足の痛みが取れないまま、休む間もなく8月15日を向かえました。恒例の終戦記念日の講演会は、「語りつごう戦争」展の主催で、本堂で午後6時から講演会。落合淳宏講師による講題「フクシマで何が起こったか」との演題で開催されました。こちらは、一般の方を中心に46名の方の参加がありました。

19647歩のマーチ

きまま日記　還付金　2011年6月10日（金）

ここ最近、区役所へ何度か足を運びました。当山にかけられている固定資産税について、少々高すぎるので疑問があったからです。何故こういう金額を割り出しているのか、話を聞きました。テナントの収益物件の土地と建物空間との二重に課税されているとの事。これは普通だと思うのですが、土地に対する課税は1階のみが収益物件で、2・3階は納骨堂で非課税のハズです。「土地の課税は、3分の1になるのでは？」との私の主張が、審査され通りました。5年分遡って還付されるとの事です。(^_^)

日本山妙法寺の平和行脚

■ことしの日本山妙法寺の平和行脚は7月21日（木）に行われました。

前夜から広島までの通し行進者が当山に宿泊。婦人会のお接待を受けて、翌朝の朝勤にも参列されて、午前9時前に当山正門前に地元の日本山の僧俗も加わって15名ほどが集合。出発式を了えて須磨浦公園に向いました。

■この日は当山の大事な年中行事である土用丑のご祈祷の日でしたので、住職上人は行進に参加できず、院首上人も東京出張が重なって出発のご挨拶のみ。結局玄題旗を持って私ひとりが同行しました。

■核兵器の廃絶を訴えて、日本山はとくに昔から原発の廃止も訴えて千葉清澄山から広島・長崎まで歩くそのホンの一部ですが、こうして同行できるのはありがたいことです。

■身体のこともあり、お寺から旧長田区役所くらいまでなら、と参加しましたが、須磨区役所を過ぎても疲れる気配もなく、お昼12時、須磨浦公園まで歩くことができました。

■日本山妙法寺のうちわ太鼓とお題目のリズミカルな調子に乗せられて、3時間がアッという間に過ぎ、須磨浦まで運ばれたような感じでした。

午後から明石方面に向う行進団をお見送りして、電車でお寺まで帰ってきました。（宮本加光 記）

平成23年8月16日の神戸新聞より

このお題目は、尊敬する藤井日達猊下のご染筆。智孝サンも陰ながらこの塔の再建を願っております。南無妙法蓮華経。

きまま日記　テレビ　2011年6月17日（金）

昨日は菜刈りの予定でしたが、雨のため24日に延期にしました。午後からは、事務所に大型テレビの設置工事が入りました。お檀家さんからの寄付です。やっとデジタル化となり、ストレスのない映像が楽しめます。コレで檀家さんもますます事務所でくつろぎやすくなると思います。Eさん有難うございました。(^o^)

2011年度　寺債金会計

（2011年6月1日～2011年8月31日）

収入（円）		支出（円）	
志納金より	0	返還金	300,000
寺債金	100,000		
受取利息	734		
収入計	100,734	支出計	300,000
5月からの繰越金	7,195,535	9月への繰越金	6,996,269
合計	7,296,269	合計	7,296,269

寺債申込者数及び金額 ………… 142名　64,600,000円

満期返還及び志納金への振替等 ……… 79名　32,700,000円

寺債金残高 ………… 63名　31,900,000円

2011年度　建設志納金会計

（2011年6月1日～2011年8月31日）

収入（円）			支出（円）	
志納金		789,000	借入金返済	3,600,000
志納金寄付		(489,000)	振込手数料	330
本会計より		(300,000)	支払利息	241,680
信行志納金	寿量C	2,000		
	題目C	1,000		
永代納骨塔冥加金		0		
自家壇冥加金	B型・分割	1,320,000		
受取利息		842		
収入小計		2,112,842	支出小計	3,842,010
5月からの繰越金		8,187,595	9月への繰越金	6,458,427
合計		10,300,437	合計	10,300,437

お詫びと訂正　前号の寺債報告の箇所を右記のように訂正させていただきます。総額に変わりありませんが、ご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。住職

満期返還及び志納金への振替等 … 78名　31,200,000円 → 32,400,000円

寺債金残高 ………… 63名　33,300,000円 → 32,100,000円

御本尊御供え

二〇一一年六月
公賀社　一〇、〇〇〇円
妙源寺　稲葉英賢　一〇、〇〇〇円
兵庫東部伝道センター　三〇、〇〇〇円
兵庫東部布教師会　一〇、〇〇〇円

七月
いきいきマジッククらぶ　一〇、〇〇〇円
新間　智照　二〇、〇〇〇円
田村　哲男　一〇、〇〇〇円
三木　紀枝　一〇、〇〇〇円
日本山妙法寺　一〇、〇〇〇円
兵庫東部伝道センター　一〇、〇〇〇円
兵庫東部布教師会　一〇、〇〇〇円

八月
大松　純子　一〇、〇〇〇円
岡崎　洋　一〇、〇〇〇円
片山ハルエ　一〇、〇〇〇円
森　雪子　一〇、〇〇〇円

建設志納者

二〇一一年度（六～八月）
上野　源治　五、〇〇〇円
枝澤　實　三〇、〇〇〇円
金光洲一郎　三〇、〇〇〇円
紙野　豊　三〇〇、〇〇〇円
佐藤　佳子　一五、〇〇〇円
新間　智孝　六〇、〇〇〇円
濱口　弘幸　九、〇〇〇円
安福　敏治　三〇、〇〇〇円
吉田　和夫（兵）　一〇、〇〇〇円
本会計より　三〇〇、〇〇〇円
合計　七八九、〇〇〇円

信行志納金

二〇一一年度（六～八月）
青木　久子　三、〇〇〇円
題目カード　一、三八三枚
寿量品カード　一、二四〇枚
陀羅尼カード　一七八枚

物品志納

錦鯉大中小九匹　畑中奈之祐

満座供養者名

おせがき（八月）
相田　幸夫・枝澤　實
門野　政雄・岸本　剛一
東山富美子・志水　郁子
藤田徹次郎・三丸　秀文
村瀬みよ子

第39回平和セミナー　響け！ 平和の音色

被爆ピアノ チャリティーコンサート 七月二十四日（日）

被爆ピアノの美しい音色とお琴、そしてヘルマンハープ

ピアノ／林　琢也　　ハープ・ピアノ／石崎育子

昭和20年の7月24日という日は、神戸に4発の模擬原子爆弾が投下された日です。この事実は、古くから神戸にいた人もあまりご存知無いようです。お寺で被爆ピアノのコンサートを開くのにあたり、ちょうどこの日が日曜日に当たっていたので、子供達にも来てもらいたくて、第39回平和セミナーを例年の6月より7月に特例として移行しました。このコンサートは、世話人の梶田誠さんの紹介で開催が実現。お寺としては、全面協力の体制をとるべく、全檀家にチラシを配り、各平和団体にも積極的に呼びかけました。しかし当日の参加者は20名程度と少なかったのが大変残念でした。

持主の松葉曄子さんは仙台在住の被災者

このピアノは、8月6日のヒロシマ原爆投下時に爆風で吹き飛ばされたもので、背面には無数のガラスが突き刺さり、放射線で変色もしています。また、持ち主の松葉曄子さんは仙台在住の方で、東日本大震災の被災者でもあります。その為、当日は東北地方応援のチャリティーコンサートとしました。音響設備や照明等が音楽用には整えられていない本堂でのコンサートに、一流の演奏家の方々が気分を害されるのでは無いかと、智孝サンは当日までハラハラドキドキ。しかしそんな心配もナンのソノ。演奏家の方々は、優しいお人柄の方ばかりで、その指先から奏でられる柔らかい音色に参加者は皆一同に、うっとりと優しい気分に包まれました。そして最後には歌も交えて「愛している」というちょっと口に出すのも恥ずかしいような歌詞を連呼しながら、参加者の皆さんを盛り上げるというテクニックには、感服するばかりでした。

筝曲／名村茂代

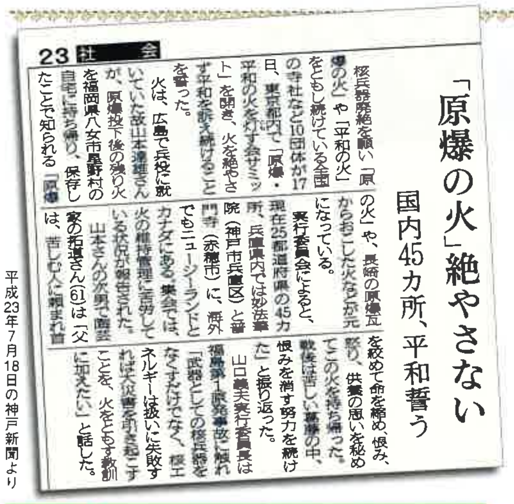
音楽を仏さまに捧げるのも供養のひとつです。

時には激しく、時には優しく…魔法の指先

よく喋る世話人の梶田さんは、寺の近く兵庫区在住

きまま日記　7676　2011年6月28日（火）

待っていた軽自動車が納車されました。お寺で買う車としては、初めての新車です。ダイハツのエコカーですので信号待ちの度に、エンジンは止まり環境にやさしい運転が自然に出来るよう工夫されています。キーレスシステムも戸惑いますし、ナビも初めてなので、しゃべってくる女性に返事したり文句言ったりと賑やかな車内です。ナンバーは友人のアイデアを頂き「7676」にしました。(^_^)v



23 社会

「原爆の火」絶やさない
国内45カ所、平和誓う

核兵器廃絶を願い「原爆の火」や「平和の火」をともし続けている全国の寺社など10団体が17日、東京都内で「原爆・平和の火を灯す会サミット」を開き、火を絶やさず平和を訴え続けることを誓った。

火は、広島で兵役に就いていた故山本達雄さんが、原爆投下後の残り火を福岡県八女市星野村の自宅に持ち帰り、保存したことで知られる「原爆の火」や、長崎の原爆丘からおこした火などが元になっている。

実行委員会によると、現在25都道府県の45カ所、兵庫県内では妙法華院（神戸市兵庫区）と普門寺（赤穂市）に、海外でもニュージーランドとカナダにある。集会では、火の維持管理に苦労している状況が報告された。

山本さんの次男で園芸家の拓道さん(61)は「父は、苦しむ人に頼まれ普を叙めて命を縮め、恨み、怒り、供養の思いを秘めてこの火を持ち帰った。戦後は苦しい暮らしの中、恨みを消す努力を続けた」と振り返った。

山口義夫実行委員長は福島第1原発事故に触れ「武器としての核兵器をなくすだけでなく、核エネルギーは扱いに失敗すれば大災害を引き起こすことを、火をともす教訓に加えたい」と話した。

平成23年7月18日の神戸新聞より

きまま日記　蚊　2011年7月18日（月）

夏につきものとはいえ、蚊には困ってる。当山は都会の真ん中なので、そんなに植木がある……というほどでも無いのだが、池もあるので蚊は多い。植木に水やりをしたり庭掃除をしたりするときに噛まれることが多い。1カ所や2カ所ならいざ知らず。時には10カ所近くも腫れてしまう。水行をしているときなどは、最悪だ。裸になっているのだから格好の餌食。肝文を唱えながら、パチパチたたいている。水を被るというよりは全身に、ウナコーワを浴びたくなってしまう毎日です。(>_<)

私立神港学園　軟式野球部　ザ・修行

七月十九日（火）

兵庫東部伝道センター（松本恵孝センター長）主催で、当山で神港学園が修行を行いました。その日のお寺は、丸刈りの制服を着た若者と丸刈りの衣を着たおじさんで溢れかえっていました。武田隆遠布教師会長による講義の後、3階で道場で唱題行。そして必勝祈願の御祈祷と続いた内容のプログラムでした。

色んな方や団体が、こうして当山を利用して下さる事は、住職としてうれしい限りです。ドシドシ当山を活用下さい。

加光さんは、おトンボ
住職を支える宮本サンは、お題目にのってリズミカルに

新開智孝を支える
みやもと・かこう
平成23年9月13日現在
満64歳

出生
昭和22年2月25日、父宮本勲・母河内のおトンボとして神戸市長田区明泉寺で生まれる。大日寺の境内が小さい頃のあそび場でした。戦時中は明泉寺、堀切の上の丸山に米英の俘虜収容所があったので明泉寺は空襲を免れた、とよく母から聞かされていました。最近ようやくこの俘虜収容所の実態が明らかにされつつあります。

学校・住居
名倉小学校から丸山中学校とすすみ、住居を本山梅林の下、天上川沿いに移したため本山第1中学に転校。そのご、お寺近くの湊川高校（合併で赤塚山高校を経て、現六甲アイランド高校）にかよい、住まいも西宮市甲陽園に移して、明治大学に入学するも5年で中退。現在は北区有野台在住。

当山就職
東京から帰って、一時神戸港の全日本検数協会につとめていましたが、お寺への就職を考えてはとすすめられ、昭和52年3月のお彼岸にはじめて来山、以来30数年間お世話になり今年の3月末に病気療養のため退職いたしました。お寺に来てすぐにインド仏跡参拝の機会があり、院首上人、永尾さん、井上さんらと参加し、これが最初で最後の？海外旅行となりました。

檀家として
お寺の檀家としては、昭和29年11月に父が亡くなったとき、新開地の三角公園に「南無妙法蓮華経」のお寺があると聞き、とび込みでお葬式をあげて頂き、母も先々代のお上人に女学校でご縁があったみたいで、永く菩提寺としてのおつき合いがつづいています。

お題目でリズミカルに
私自身は、昨年12月に喉頭部癌を発症し、中央市民病院で抗ガン剤治療をおこなっております。2週間の投薬と点滴で1週間休みのペースで、8月末をむかえました。7月21日には日本山の平和行脚があり、当山から須磨浦公園まで何なく歩けたのが不思議なくらいです。お題目を唱えながらリズミカルに歩いたのが良かったのだと思います。

アルバイト
こんなからだですので、責任のあるしっかりした仕事は出来ません。ルス番、デンワ番、ソージ係としてアルバイトでお寺に来ていますが、はたしてお役に立っているのか、あやしいところです。ハイ。

広告募集中

＊広告サイズ
約横40㎜×縦50㎜
＊広告はフルカラー
オリジナルロゴや写真もOK!
＊料金　1回1スペース1万円
＊印刷部数　約700枚
＊配布は檀家さん中心
＊次号は12月中旬発行予定

貴方のご協力
お待ちしています

引越間近!!
移転先は…なんと
永沢町 4−?−?
コレって…もしかして!?

企画・制作
TOKUHIRA
〒652-0042
神戸市兵庫区東山町2丁目1番3号
TEL. 078-577-1665
FAX. 078-577-7505
E-mail atmax.tokuhira@nifty.com

秋毎の地蔵盆の礼状

お菓子を配る清水上人

昨日の地蔵盆では、新しいやり方を試していただき誠にありがとうございました。これまでは、今までやってきたとおりにするのが当たり前という感じでやってきていたので、昨日の地蔵盆のやり方は新鮮な印象を受けました。

智孝さんにおかれましては、いかがでしたでしょうか。随分と長い間読経されていたので、大変お疲れであったと思いますが、来年はもっとこうした方が良いと思われることがありましたら、ご教示お願いいたします。

秋毎株式会社　坂口

檀家の皆さんからの退任記念でベトナム旅行へ!!

院首サンは元気ハツラツ！

院首サンは、両目の白内障の手術を6月に受けられました。「10年ほど若返ったようで、眼鏡なしでもよく見える」とは本人のお言葉。国民平和行進も歩かれ、お盆の棚経も31件のお宅へ伺いました。

その直後の8月18日より1週間、京都宗平協主催の「ベトナム平和友好交流の旅」に参加されました。

この海外旅行は、法燈継承の折りに皆様からいただいたお祝いを退任記念として、海外旅行の形で目録をお渡ししておりました。それを使っての旅の実現です。お約束どおりお付きとして、総代の岡崎洋さんに同行いただき、お寺としても安心して院首サンを送り出す事が出来ました。当山として皆様に感謝と御礼のご報告を申し上げます。本当に有難う御座いました。

当山の開門時間は、午前6時〜午後5時までで年中無休。納骨堂等にお参りの方は、なるべくこの時間内に。事務所は午前9時〜午後5時まで。電話等もなるべくこの時間内にお願いします。葬儀等の緊急を要する場合は、この限りではありません。

院首放話

85年を生きてきて②

◆妙法華院にて誕生

私は１９２６（大正15）年９月17日に妙法華院の庫裡で生まれた。３カ月後に世は昭和元年となる。兄進一のあと時子・廣子・玲子・悦子と続き、９年ぶりの男児誕生なので、皆に愛されたようである。「独りでにこにこ遊んでいる、手のかからない子であった」と母は言う。成人してから次のように聞いた。

父は「次男は行（一百日加行＝大荒行）のあとに授かった子なので頭が良い」と語ったと大阪の深川泰澄上人から聞いた。もっとも父自身が幼時より、新間一族の中で最も秀才とされ、神戸一中・第一高等学校（一高、東京）・東京帝国大学（東大）と秀才コースを歩んでいる。

母が晩年「あなたにだけ言っておきます」として、「夫婦和合のとき、思わず声を揃えてお題目を唱えたことがあり、その時にあなたを身ごもったらしい。お題目でできた子が、次男なのに寺を継ぐようになった不思議」と話してくれた。「あァそうか、私はやはり寺を継ぐために生まれてきたのだ」と、うなずいたのであった。

◆幼時の記憶

昭和４（１９２９）年11月25日、風呂場から出火して庫裡が全焼した。当時の新聞に大きく報道され、かなりの大事件であった。数え４歳の私は負われて避難したのが、幼時記憶の原点である。庫裡は、父が入寺して新築した数年後のまだ新しい建物で、父は辛かったであろう。

再建されるまでは鬼子母神堂に寝起きし（その間、鬼子母神像は本堂へ移す）母が参詣者に「鬼子母神様は本堂に……」と説明する口調を、私は口真似して遊んだ。夜、焼跡に据えた桶風呂に入るのが、ローソクの暗い光だけで少し怖かった。

再建された新築の庫裡で、私たちはすくすくと育っていったが、一度、父にきびしく叱られたことがある。父は家族に対しては無口な方で、短い言葉で注意したり叱ったりすることがあるが、静かに見守っているようであった。

一度だけ、叱られたのは、原因は覚えていないが、２歳下の妹をからかって泣かせたか何かで、少し度が過ぎたので、きびしく父に叱られ、「本堂の押入れに入れる」と本堂まで引張っていかれた。本堂ご本尊の下が左右から通り抜けの通路に設計されていたが、押入れとして使われており、左右の扉を閉めると、一条の光も入らない真っ暗になる。外からロックされると、中で泣こうが喚こうが、庫裡までは届かず、誰も来てくれない、幼児にとって恐怖の場所であった。泣いて謝って、ようやく許してもらった。

もう一つの記憶は何歳のときか？役僧の釈能徹さんに負われて寺の１キロ西南へ、汽車が走るのを見に行った。高架化になる直前のころだったろう。

一家中、私だけが左利きで、５～６才のころ、右向きのウサギの画をしきりに描いて（右利きなら左向きの画になる）茶筆筒の側面などに貼りつけて、展示ごっこをした思い出がある。なぜウサギかというと、耳を長く描けばそれとわかる―他の犬やネコでは幼稚な描線では区別しにくい―からだったろう。

新間　智照

父母新間智啓・照夫妻

法器養成基礎教育

日蓮宗 近畿教区 僧風林

七月二十五日(月)～三十一日(日)

日蓮宗近畿教区の「僧風林」は、五十年以上にも及ぶ歴史と伝統があり、その長年の経験と洗練されたカリキュラムは教区の誇りです。

僧風林は日蓮宗の僧侶を志す人のための基礎修行の場で、期間中は三宝給仕を中心とした指導方針を踏まえ、読経や聲明の練習、法要式に仏伝祖伝講義、お題目の書写（光明点法）、横川定光院への登詣などが行われ、毎日各本山の貫首猊下の訓話も賜ります。

聲明師資格を有した講師陣指導のもと、お経は一々文々で練習し、法要練習は、林生が式衆となって入堂から退堂までの一連の流れを習得します。法衣の扱いや数珠の持ち方、また聲明の唱え方や所作など細かいところまで注意を受け、全員が呼吸をあわせて取り組みます。

ゲームもテレビも無い集団生活の一週間は林生にとって、最初は辛く長い時間に思えるでしょう。しかしこの充実した一週間は、必ずや生涯の宝になります。林生はこの一週間で見違える程の成長を遂げるのです。

僧風林参加者 感想文

第３回生　新間　敬秀（小学校６年生）

僧風林に来る前は、楽しみにしていて早く行きたいという気持ちでした。来て一日目から、去年は教えられる立場だったのに、今年は教える立場だったので、復習するのに疲れました。

去年の五回生を思い出して、教え方などを考えている時、四回生の林生が引っ張ってくれました。四回生を見ならいながらの生活が何日間か続きましたが。僕も教えるようになれました。教えていく内に復習できたし、友達にもなれました。

一週間は短かかったけど、習ったことはたくさんあります。その習ったことを、お寺や生活にいかし、復習していきたいです。

一週間の中で一番楽しかった時は、教え合う時です。夏休みの思い出にもなる一週間だったので来年もまた来たいです。

南無妙法蓮華経

予告記事

★秋のおせがき法要

９月23日（祝）

● 秋彼岸せがき法要
午後１時～　於　２階本堂

★ろおたす婦人会バザー
午前10時～　於　１階ショールーム

バザーは品物の提供も受け付けています。ただし新品に限ります。バザーの収益は、当山の志納金会計に繰り入れます。

★唱題のつどい

午前10時半～　於　３階道場

※30分程のお経と唱題行です。
※９月12・13日は唱題後にバザー値付け作業を行います。

● 伊豆法難会　９月12日（月）
● 宗祖開祖聖日　９月13日（火）
● 秋季彼岸会　９月20～22日・24～26日の６日間
★ 婦人会奉仕日　９月21日（水）唱題後～
● 佐渡法難会　10月10日（祝）
● 宗祖開祖聖日　10月13日（木）

☆戦跡めぐり

※市内の戦争遺跡をバスで廻ります。

日　時　10月10日（月・祝）
・集合８時45分・出発９時
集合場所　湊川神社正門前
参加費　３，０００円（昼食代別）
定　員　28名
※定員になり次第、締め切ります。
※詳しくは、お寺までお問い合わせ下さい。
（担当・宮本サン）

★第40回 平和セミナー

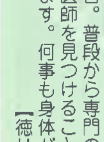
10月22日（土）午後２時～４時

※日蓮宗兵庫東部青年会の被災地活動の記録と報告会
※清水隆将上人も参加!!

★信行会

10月２日（日）午後１時～
於　３階道場・会議室

秋の身延団参は、締め切らせて頂きました。



れんこんの穴　編集後記

ナントカお寺が一番忙しいお盆の時期を乗りこえました。引継の関係からか、お金の未納請求や事務連絡などで、お檀家さんとの行き違いやご迷惑をお掛けした事がチョコチョコありました。今後は、こうしたミスの無いように衣の襟を正して頑張りますので、今回はご容赦下さい。【智孝】

７月後半から８月いっぱいは超ハードな毎日でした。休みなく朝から晩までお寺と家事の繰り返しの毎日…。ちょっと自由が欲しい今日このごろデス（苦笑）【陽子】

前号で５kg痩せると宣言しましたが、残念ながらマイナス３kgでした…。太るのは簡単だったのに、痩せるのって難しいですね（涙）。見た目には何も変わらないですが、少し軽くなったと言うことで、お許し下さい。でも、新たに目標を決め、体重75kgを目指します。【清水】

私の目指すのは53kg。夏のセイでもあるが、点滴に行くたびに測る体重は○gずつ減っていく。体重は点滴や薬の量にも影響してくるので、なんとか目標を目指したい。ちなみに現在は48kg【宮本】

徳リンとは、わたし徳平章の事です。今、この「れんこん」の作成を担当させてもらっている業者です。団塊の世代にとっては、今が人生の節目。普段から専門のかかりつけの医師を見つけることをオススメします。何事も身体が資本。【徳リン】

金魚もあめんぼうも、ボウフラもいるでヨ

ニシキゴイと亀のランデブー

その世界では、知らない人はいない程の匠。「ニシキゴイの銀助さん」なる人から当山に鯉を譲り受けた。昔、檀家さんから立派な鯉を10匹ほどいただいて、しばらく飼っていたのだが１匹、また１匹と少しずつ死んでいき、震災で池も壊れたりしたので、それからは安価の金魚のみで、ごまかしていた。それでもその金魚が少しずつ卵を産んでは孵化し、強いものだけが１～３匹ほど残っていく、という純粋な世襲の子を生み出していった。現在は大きな亀も入っているが、これはウチの次男が池で釣ってきたもので、みどりがめの親分である。すぐに脱走したり深い橋の下に落ちたりするものだから、当山の生物部主任・清水上人が、一生懸命落ちないように、ブロックを並べたり、ゲートを作ったりしているようだが、「どうやって乗り越えるねん？？」と不思議なほど、行動力がある亀である。あまりにも命知らずのチャレンジを繰り返すものだから、今は甲羅にイナズマ型の勲章が出来ている。自然とあめんぼうも増えたりして、ちょっと注目の我が境内の池なのだが、ポンプの調子が悪くて、これまた頭を悩ませている…。ちなみに鯉は「ゲンさん」と呼んで下さい。亀の名前は募集中…。

Tさんが、夏の間朝早くに、庭と香風苑の植木の水やりに来て下さった。お寺としてはお盆の忙しい時期でもあり大いに助かりました。こうした行為もお布施の一つで、「身施」といいます。